

村のかじやさん

小川未明

青空文庫

村^{むら}のかじやさんは、はたらき者^{もの}で、いつも夜^{よる}おそくまで、テンカン、テンカンと、かなづちをならしていました。

ある夜^よ、きつねが、あちらの森^{もり}で、コンコンとなきました。

かじやさんは、「お正^{しょう}月^{がつ}の休^{やす}みに、きつねをとってやろう

。」と、思^{おも}いました。

かじやさんは、自^じ分^{ぶん}の手^てで、ばねじかけのおとしを作^{つく}りました。

はたらき者^{もの}のかじやさんも、お正^{しょう}月^{がつ}には仕^し事^{ごと}を休^{やす}みました。

雪^{ゆき}がちらちら降^ふっています。かじやさんは、うらのはたけへお

としをかけました。

晩^{ばん}になると、きつねが、あぶらげのにおいをかぎつけてやって

きました。

「お母さん、こんなところに、どうしておいしいものが、おちているのでしょうか。」と、子ぎつねがふしぎがりました。

「まあ、あぶないことだ。これは、おとしというものです。さあ、早く、こちらへおいで。」と、母ぎつねは、子ぎつねをつれてゆきました。

「お母さん、だれが、あんなことをしたの？」と、子ぎつねがききました。

「だれがするものか、あのかじやさんだよ。」

「はたらき者だけれど、わるい人ね。」

「なに、私たちをそんなばかだと思っっているのでしょうか。」と、

母^{はは}ぎつねが笑^{わら}いました。

かじやさんは町^{まち}へご年^{ねん}始^しにいきました。お酒^{さけ}をたくさんいただけ
 きました、いい気^き持^もちで村^{むら}へかえつてきました。途^{とちゆう}中^{ちゆう}で日^ひがく
 れてしまいました。けれど、かじやさんは「あ、こりや、こりや
 。」と、うたをうたいながら、上^{じよう}ぎげんでありました。このとき、
 赤^{あか}いちようちんをつけて、二^{ふたり}人^りの子^こ供^{ども}がきかかりました。

「おじさん、お酒^{さけ}によつて、よく歩^{ある}けないのでしよう。お家^{うち}へつ
 れていつてあげましよう。」と、二^{ふたり}人^りは手^てをひいてくれました。
 「おお、勇^{ゆう}坊^{ぼう}と、みつちやんか、あしたあそびにきな。みかん
 をやるから。」

かじやさんは、いいきげんでした。

「おじさん、もう、ここはお家うちよ。おすわりなさい。」

かじやさんは、いい気持きもちちで、ぐうぐう、ねてしまいました。
鳥とりがないて目めをさますと、かじやさんは、お寺てらのかねつきどうに
すわっております。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 11」講談社

1977（昭和52）年9月10日第1刷発行

1983（昭和58）年1月19日第5刷発行

底本の親本：「小学文学童話」竹村書房

1937（昭和12）年5月

初出：「セウガク二年生 12巻13号」

1937（昭和12）年1月

※表題は底本では、「村《むら》のかじやさん」となっています。

※初出時の表題は「村のかぢやさん」です。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2016年6月10日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

村のかじやさん

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>